

神田探検団スケジュール

社会学科4年 本多 凌 小林 誉英

6月17日(土) 13時 神保町駅「A6出口」集合

参加者： 4年：本多、小林、番、橋本／3年：倉持／後藤先生



このエリアの古本書店を回って気になった本をできれば購入

↓

13時45分 御茶ノ水周辺の大学を見て回る

↓

14時00分 ニコライ堂

聖堂見学：拝観献金 300円

「ニコライ堂」は通称であり、日本に正教会の教えをもたらしたロシア人修道司祭（のち大主教）聖ニコライに由来する。

ニコライ堂は自治正教会である日本ハリストス正教会（日本正教会）の中心であり、全日本の府主教座・東京大主教座聖堂である

↓

14時45分 湯島聖堂

徳川五代将軍綱吉は儒学の振興を図るため、元禄3年（1690）湯島の地に聖堂を創建して

上野忍岡の林家私邸にあった廟殿と林家の家塾をここに移しました。これが現在の湯島聖堂の始まりです。その後、およそ 100 年を経た寛政 9 年（1797）幕府直轄学校として、世に名高い「昌平坂学問所（通称『昌平校』）」を開設しました。

明治維新を迎えると聖堂・学問所は新政府の所管するところとなり、当初、学問所は大学校・大学と改称されながら存置されましたが、明治 4 年（1871）これを廃して文部省が置かれることとなり、林羅山以来 240 年、学問所となってからは 75 年の儒学の講筵は、ここにその歴史を閉じた次第です。ついでこの年わが国最初の博物館（現在の東京国立博物館）が置かれ、翌 5 年（1872）には東京師範学校、わが国初の図書館である書籍館が置かれ、7 年（1874）には東京女子師範学校が設置され、両校はそれぞれ明治 19 年（1886）、23 年（1890）高等師範学校に昇格したのち、現在の筑波大学、お茶の水女子大学へと発展してまいりました。このように、湯島聖堂は維新の一大変革に当たっても学問所としての伝統を受け継ぎ、近代教育発祥の地としての栄誉を担いました。（湯島聖堂 HP から引用）

湯島聖堂を中心に御茶ノ水駅周辺が学生の街として発展していったことを目で確認する。

↓

15 時 15 分 神田明神

平将門が祭られており、祈願すると勝負に勝つと言われている。

これから勝負事がある学生は祈願するのもいいかと思います。（特に 4 年生は就活に勝つ意味も込めて）

アニメ『ラブライブ』で出てきた舞台として、絵馬にはアニメの絵が数多く書かれているため面白いかも

↓

16 時 湯島天神

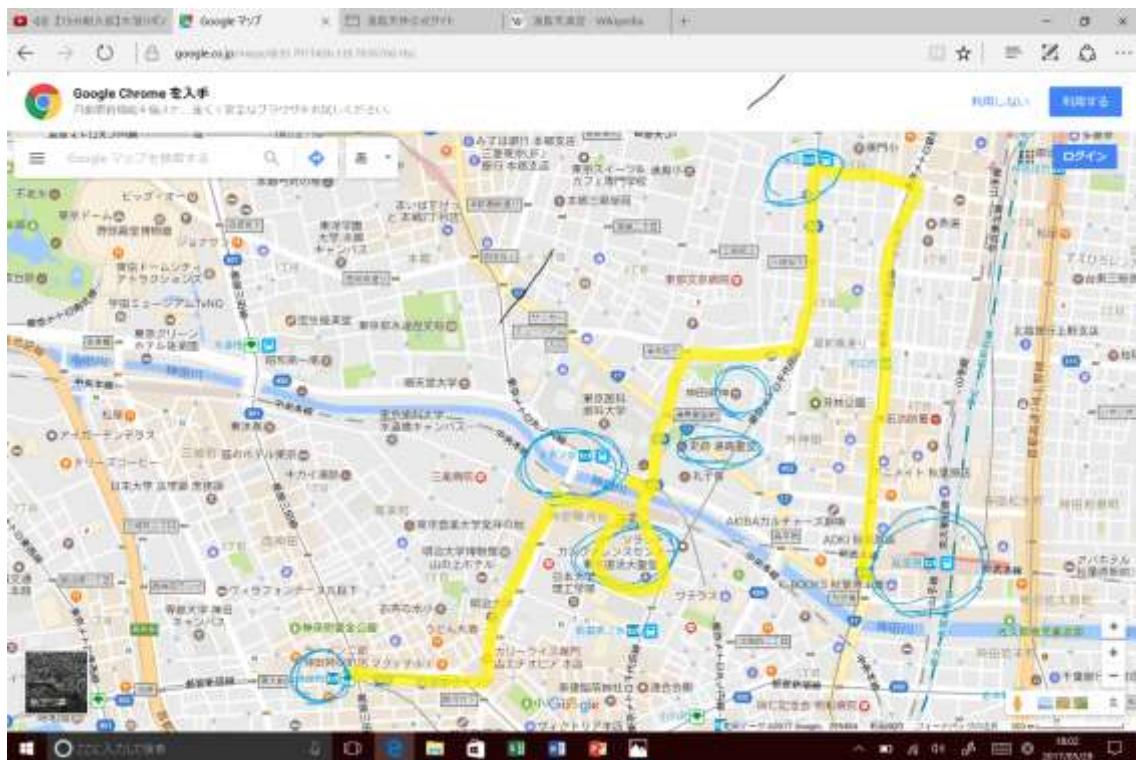
菅原道真を祀っている神社。後藤ゼミの発展をみんなで祈願しましょう。

↓

16 時 30 分 探検団まとめ

↓

解散



これはあくまで予定なので時間に変動有り。

当日はそこそこ歩くと思うので、歩きやすい服装などをお勧めします。